

インターンシップ・プログラム 名称が 変わります!

NEW!

企業
団体様へ
ご案内

大学コンソーシアム京都

産学連携 教育プログラム

エクスターンシップ(就業体験)コース

プロジェクト企画実践コース

👍 受入企業・団体の

満足度

89.1%

※2022年度

👍 意欲ある学生の参加で

職場が

活性化!

受入企業・団体
学生、双方に
メリット多数!
詳しくは中面をチェック➡

私たちは産官学地域連携のキャリア教育をめざしています。



公益
財団
法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

きょうで変わるプログラム

～私たちは産官学地域連携のキャリア教育をめざしています～

大学コンソーシアム京都の産学連携教育プログラムは、大学における学びの一環として位置づけ、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした産官学地域が連携して行う教育プログラムとして、1998年度より全国に先駆けて開始しています。

単なる就業体験にとどまらず、実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムを持ったキャリア教育として実施しています。

受入企業・団体、学生双方にメリットがあり、「社内の雰囲気が変わった」「社員の意識が変わった」など、例年多くの方にご満足いただいています。

今日で変わる、京都で変わるプログラムをぜひご利用ください。

本プログラムは2023年度まで「インターンシップ・プログラム」の名称で実施してきましたが、2022年6月に改正された「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(文部科学省、厚生労働省および経済産業省合意)に伴い、プログラムの名称を「産学連携教育プログラム」に変更いたしました。

実習生受入れのメリット

▶ 社内の**活性化**につながります!

実習生を受入れることで、指導を担当した社員の成長につながります。社内にもっと違うメンバーがいることで、雰囲気を刺激したり、リフレッシュしたりしてくれるかもしれません。

▶ 新しい**アイデア**に出会えます!

若い世代が求めるサービスや商品について情報収集できます。学生ならではの新しい視点による企画提案が期待でき、新商品開発や業務改革などに取り組む絶好のチャンスです。

▶ 自社の**PR・広報**につながります!

実習生は将来、顧客や協力者になる可能性があります。様々な大学・短期大学の学生が参加するので、商品や社名を学生に認知してもらうことにより、宣伝効果が期待できます。

▶ 自社の**根本課題**に取り組みます!

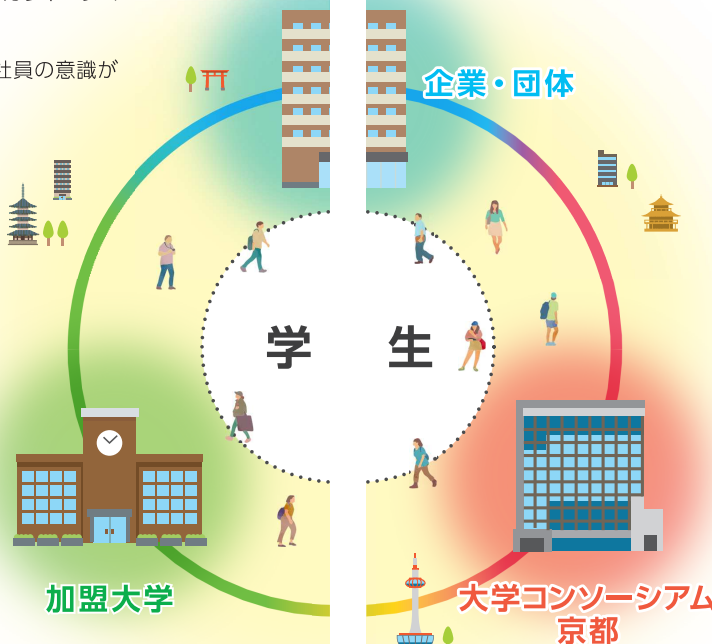
日常業務ではなかなか取り組むことができなかった自社の根本課題に取り組むきっかけとなり、新たな業務展開が期待できます。

▶ 大学等との**新たな関係**が広がります!

プログラムを通じて、大学等との交流の機会が生まれ、産学連携の可能性が広がります。

▶ 社会と地域に**貢献**できます!

京都地域の学生の育成を受入先企業として支援することにより、社会的貢献となり、社会的イメージの向上を図ることができます。



大学コンソーシアム京都が窓口となって実施する 産学連携教育プログラム

- エクスターンシップ(就業体験)コース(旧ビジネスコース/パブリックコース)
- プロジェクト企画実践コース(旧長期プロジェクトコース)

3つのポイント

その1 **さまざまな大学の 意欲ある学生が参加**

本プログラムは教育プログラムとして実施しており、回生を問わず、人文社会系・理工系・芸術系など多様で個性ある学生がチャレンジしています。京都地域を中心に約50の大学・短期大学の学生に、受入企業・団体の情報を広く周知しており、さまざまな大学の意欲ある学生と出会うことができます。

その2 **リスク対策が万全で 受入も安心**

実習中の思わぬ事故や情報漏えい、トラブルなど想定されるリスクを防止、軽減するために、保険への加入、リスクマネジメント講習の実施、三者(受入企業・団体、学生の所属大学、大学コンソーシアム京都)による協定書の締結をおこなっています。

その3 **充実の事前・事後 学習プログラム**

これまで20年を超える豊富な経験を活かし、実習の前後に行う「事前・事後学習」では大学の教員が学生をサポートしながら、多様な実習先や学生の属性に対応した学習を実施します。業界研究や実習に向けたマナー講習も実施するほか、実習中には大学教員が実習生の中間指導をおこなう等、受入先様とともに学生の成長をトータルに支援します。

コーディネータからのコメント

リスク対策も万全だから受入れも安心です

本プログラムでは、学生に対して、開講時および実習に行く前にリスクマネジメント講習を実施しています。この講習は、実習中の思わぬ事故、情報漏洩、SNSトラブル、その他実習先でのトラブルなど、実習において想定される様々なリスクを把握し、それを防止、軽減するための内容となっています。また、実習中の事故やケガに備えて、大学コンソーシアム京都において保険に加入するとともに、三者(受入企業・団体、学生の所属大学、大学コンソーシアム京都)による協定締結により危機管理体制を構築します。このように、派遣する学生に対して万全かつ十分な対策をいたうで、実習にのぞませています。

京都女子大学 法学部 教授 桜沢 隆哉



新たな感性に触れることができる!

エクスターンシップ(就業体験)コース

(旧ビジネスコース/パブリックコース)

【ビジネスクラス/パブリッククラス】

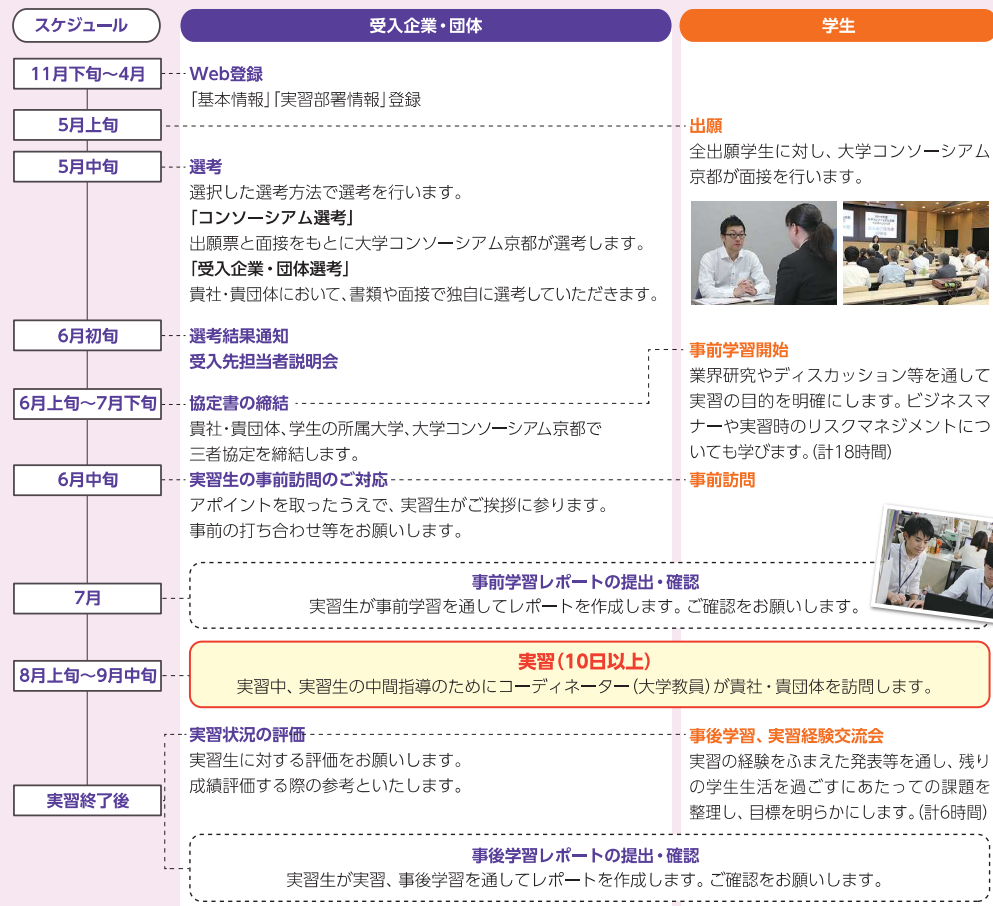
【実践就業型実習(夏期)】

原則8月上旬～9月中旬に、企業・行政機関・非営利組織において2週間(実働10日)以上の実習を行うコースです。[事前学習]▶[実習]▶[事後学習]という体系化された学習プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性や職業観を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指します。事前学習・事後学習では、ビジネスクラスは業界・業種別に、パブリッククラスは行政・非営利組織別にクラスを編成し、他大学の学生と共に、業界研究やディスカッション等を行うことで、目標達成に向かいます。

実習期間

8月上旬～9月中旬のうち、2週間～1ヶ月程度(実働10日間以上)

登録から実習終了までの流れ



実習プログラム事例

ビジネスクラス (富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社京都支社)

- 1日目 オリエンテーション、会社概要紹介
- 2日目 商品紹介プロダクション、商品紹介文化推進関連
- 3日目 【営業実践】事前準備 顧客の課題調査、提案書の作り方
- 4日目 【営業実践】顧客訪問、顧客訪問振り返り
- 5日目 【営業実践】プレゼン資料作成、プレゼン練習
- 6日目 【営業実践】プレゼン資料作成、プレゼン練習
- 7日目 【営業実践】顧客訪問、プレゼンテーション、顧客訪問振り返り
- 8日目 【営業実践】お客様へのお礼状作成、若手社員との交流会
- 9日目 実習成果まとめ、発表資料作成、発表練習
- 10日目 【成果発表】資料手直し、発表練習、成果発表

パブリッククラス (京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室)

- 1日目 オリエンテーション*、事業概要説明、イベント会議参加
- 2日目 係内会議参加、イベント会議参加
- 3日目 イベント会議参加、事務作業
- 4日目 イベント会場視察、摘録作成、外部との調整業務
- 5日目 中間学習会の資料作成、外部との調整業務
- 6日目 中間学習会の資料作成、イベントMC原稿の作成
- 7日目 広報資料の作成、イベントMC原稿の作成
- 8日目 イベントプロモーション動画に係る撮影ロケ参加、中間学習会*
- 9日目 イベントMC原稿の作成、企画書の作成
- 10日目 企画書の作成、外部との調整業務
- 11日目 企画書の作成、外部との調整業務
- 12日目 事後学習会の資料作成、イベントMC原稿の作成
- 13日目 事後学習会の資料作成、企画書の作成
- 14日目 企画書の作成、事後学習会*

*京都市で受け入れている実習生全員を集めて実施

受入企業・団体様の実習事例紹介はこちら

新規受入企業・団体様へのメッセージ等も掲載しています
<https://consortiumkyoto-internship.jp/example/>



受入企業・団体からのコメント

ビジネスクラス

私たちの活動が、少しでも学生の未来の一助になればと考えています

当初はすべて対面で計画していましたが、オンラインでの実施に変更となりました。対面で計画していた内容を急遽オンラインに切り替えて実施することへの不安が多々ありましたが、学生自身が参加目的と目標をしっかりと持ってプログラムに参加し、主体的に行動してくれたこと、そして、大学コンソーシアム様のご協力があり、目を追う毎に不安が解消されていきました。オンラインでの実施となっても、学生とのコミュニケーションをしっかりとできるように、朝礼、夕礼に加えて昼礼を加えました。そうすることで進捗度合いの確認や現状で困っていることなど適宜共有しながら進められた点は良かったと思います。またオンラインでは雑談の時間が取りにくくなりますので、伝える練習を兼ねて朝礼で2分間スピーチとしてテーマは自由に話してもらいました。そのおかげで興味や関心のあること今熟中している事などパーソナルな部分についても共有ができ共通の話題でコミュニケーションも取りやすくなったと思います。毎年、参加した初日と最終日の学生の顔が全然違って成長を感じられる瞬間がいつも楽しみで嬉しく思っています。少しでも未来を担う学生の一助になればと考えています。

富士フイルム

ビジネスイノベーションジャパン株式会社 京都支社



パブリッククラス

職場の活性化や若手職員の育成、取組のPRにも繋がる

京都市総合企画局総合政策室大学政策担当

「大学のまち京都・学生のまち京都」を推進する京都市では、大学の学びの一環として大学コンソーシアム京都が実施する「産学連携教育プログラム(旧インターンシップ・プログラム)」を重要な取組と考え、プログラムの創設当初から多数の実習生を受け入れてきました。その結果、実習生を受け入れることは、受け入れ側にも多大なメリットがあると実感しています。まず第一に、市の取組に対し、実習生ならではの視点や自由な発想からの意見に直に接することは、ややもすれば硬直しがちな職場の活性化に繋がります。加えて、実習生の指導に際しては、指導する若手職員自身が業務内容や全体のタスクの流れを正確に把握する必要があるため、若手職員の成長も期待できます。また、多岐に渡る行政の仕事に普段接点が少ない実習生に業務内容を知ってもらう良い機会になり、更には自分たちの取組をPRすることにもなるため、今後も継続して参加したいと考えています。実習生の受け入れには、一定の負荷が伴いますが、是非、多くの企業や団体の方々に参加していただけることを願っています。



学生からのコメント

現場でしか体験できない経験が自分自身の新たな発見や成長に繋がりました。



多くの業務を経験させてもらい、大変充実した10日間でした。非常に多忙な日々の中で学生のために時間を割いてくださったことが何よりも嬉しかったです。



実際の業務に携わらせていただき、楽しさ・やりがいや、大変さ・難しさを身をもって体験することができました。



「動く」ことについて具体的にイメージすることができ、「もっとこうしていこう」、「こんなことに挑戦していこう」という意欲がわきました。

自社の課題解決につながる!

プロジェクト企画実践コース

(旧長期プロジェクトコース)

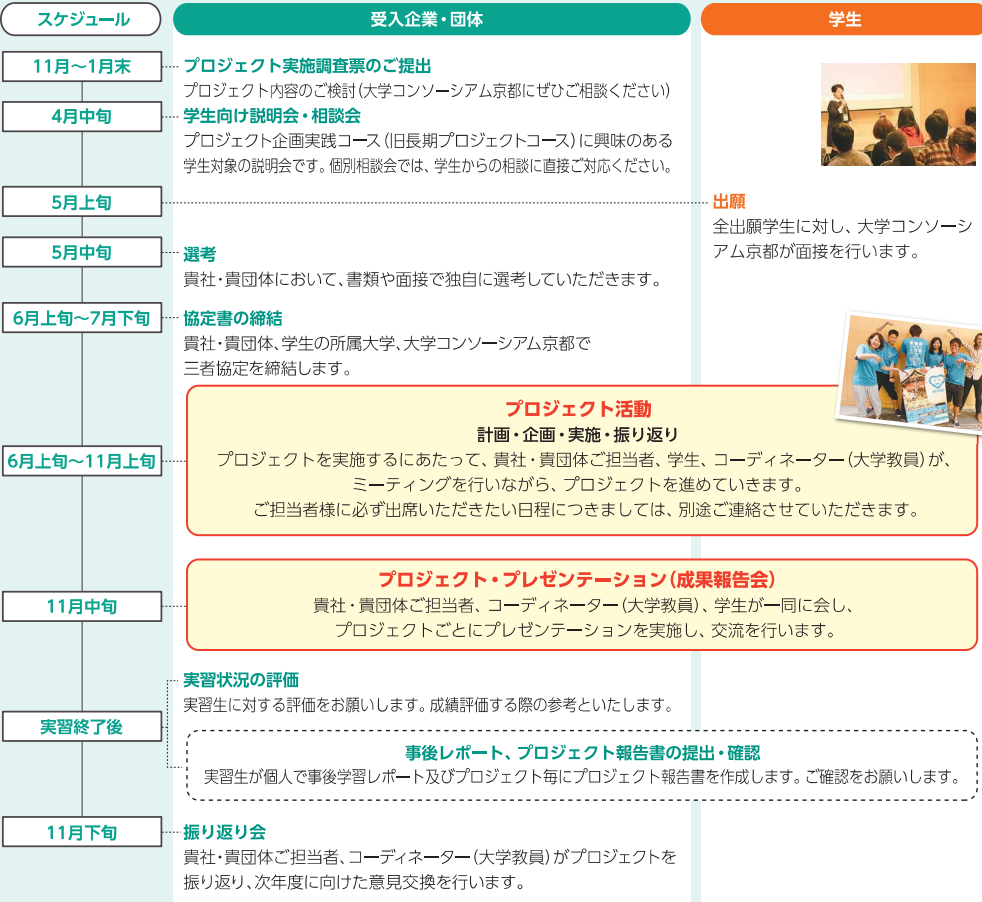
【長期課題解決型実習】

6月中旬から11月下旬の5か月間、企業・行政機関・非営利組織が提示するテーマの課題やプロジェクトに取り組むコースです。プロジェクトを通して、さまざまな角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることが目標です。受入企業・団体が実習生に提示したプロジェクトのテーマ(課題)に沿って成果重視の活動を行うプログラムです。

実習期間

6月中旬～11月下旬の約5ヶ月間

登録から実習終了までの流れ



プロジェクト一覧

脱炭素社会と再生可能エネルギー
100%実現に向けた調査・情報発信
特定非営利活動法人気候ネットワーク

きょうのやましなさんプロジェクト
株式会社インサイトハウス



WebサイトやSNSのメディアコンテンツ拡充及びPR
株式会社ディアライブ

「つくる」×「つたえる」のチカラを学ぼう!
関西巻取箔工業株式会社(KANMAKI)

Rediscovery Label おもしろシール・ステッカーの創作
株式会社大槻シール印刷

日本一小さな百貨店で考える持続可能な暮らし
つなよし百貨店

子どもが抱える「困った」を地域で解決していくための
取り組み・仕組みづくり
特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば

「福祉×IT×地域」で障害者が安心して働ける
世の中づくりプロジェクト
特定非営利活動法人クリエイター育成協会

ローカルな活動団体さんの新たな出会いときっかけを創出する
企画・実施プロジェクト
有限責任事業組合まちとしごと総合研究所

～花背フィールドラボプロジェクト～
一般社団法人Impact Hub Kyoto

若者向け就職情報フリーマガジン「おっちゃんとおばちゃん」を
悩める学生に発信しよう
株式会社ユニオン・イー

京都こども宅食プロジェクト～こどもの貧困問題を考える～
社会福祉法人あだち福祉会

(2023年度プロジェクト企画実践コース(旧長期プロジェクトコース)登録企業・団体様)

受入企業・団体様のプロジェクト紹介はこちら

<https://consortiumkyoto-internship.jp/long-term-project-course/#training-list>



受入企業・団体からのコメント

プロジェクト企画実践コース(旧長期プロジェクトコース)

目的を明確にすると受け入れやすくなる

関西巻取箔工業株式会社 取締役C.O.O 久保 昇平

“異分子”を入れることで、固定化された考えや視野を広げたい。それが、当社が受け入れを始めたきっかけでした。意図的にバックグラウンドの違う人を入れることで緊張感を生み、若手社員の仕事に対する意識向上を促す。そういった短期的な目的は、今のところ達成していると思います。中長期的には、実習生OB・OGが就職した先とビジネス関係になったり、転職先に当社を選んでもらったり、という繋がり成果を期待しています。本コースを選んだ理由は、せっかく受け入れるなら「仕事」というものの本質を学んで欲しいと考えたからです。経験のない学生に課題の解決や新しい企画の立案は難しい。それは当たり前のごとです。アウトプットのレベルは決めていません。一番大切なのは、「やりきった」という形・感覚を学生に持ってもらうこと。負担感が気になる場合は、目的を絞ってシングルイシューで募集されてみてはいかがでしょうか。



学生からのコメント

大学の学びだけでは実感することのできない社会全体の仕組みを社会人になる前に体感することができました。



多くの交流で柔軟な物事の見方や変化に対応する力がつきました。



プロジェクトとして社会の問題に協力して向き合う過程にも価値があることに気づかされました。



「働く」ということについてしっかり学習できました。自己理解が深まり、将来の展望も明るくなりました。

加盟大学・短期大学一覧

国立大学

京都大学

京都教育大学

京都工芸繊維大学

公立大学

京都市立芸術大学

京都府立大学

京都府立医科大学

福知山公立大学

私立大学

池坊短期大学

大谷大学

京都医療科学大学

京都外国語大学

京都外国語短期大学

京都華頂大学

華頂短期大学

京都看護大学

京都経済短期大学

京都芸術大学

京都光華女子大学

京都光華女子大学短期大学部

京都産業大学

京都女子大学

京都精華大学

京都西山短期大学

京都先端科学大学

京都橘大学

京都ノートルダム女子大学

京都美術工芸大学

京都文教大学

京都文教短期大学

京都薬科大学

嵯峨美術大学

嵯峨美術短期大学

種智院大学

成安造形大学

同志社大学

同志社女子大学

花園大学

佛教大学

平安女学院大学

明治国際医療大学

立命館大学

龍谷大学

龍谷大学短期大学部

大阪医科薬科大学

京都情報大学院大学

放送大学・京都学習センター

2023年10月現在



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

インターンシップ事業推進室

2024年4月より「産学連携教育事業推進室」に名称が変わります

● 9:00~17:00 (日、月曜休館)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内

※京都市営地下鉄、JR・近鉄「京都駅」から徒歩7分程度

TEL. 075-353-9106 FAX. 075-353-9101

E-Mail : intern@consortium.or.jp

<https://www.consortiumkyoto-internship.jp>

大学コンソーシアム京都 インターンシップ

